



特定非営利活動法人キドックス 年次報告書2015





キドックスの目指す社会

子ども・若者が自ら学び考えて行動し、
主体的に自分の人生を生きることができる、
犬が犬らしく人間社会の中で生きることができる、
“人がその人らしく”
“犬がその仔らしく”
心身豊かに生きられる社会を目指します。



キドックスの社会での役割

“若者が社会で自立するための基礎力を身につける教育機会”
“犬が人の社会で幸せに暮らすための教育機会”
の2つを同時につくることで、
双方に価値のある「ドッグ・プログラム」
を提供します。



2015年度を振り返って 代表理事 上山琴美

法人設立4年目となる2015年度は、法人の初となる有給スタッフを雇用し、プログラムの質と成果の向上と、事業基盤の整備の2つに主に力を入れて活動をいたしました。前半期では、プログラム内容の細かい見直しやマニュアル・ルール作りなど主にシステム面に力を入れていたのですが、やはり若者という「人」と保護犬という「生き物」を相手にしていることから何度も壁にぶつかることがあり上手く成果が出せず悩みました。後半期からは、システム作りではなく、支援スタッフの育成に力を入れる方向にシフトし、多数の勉強会や資格試験や内部研修などに取り組み始めて、やっとチームとして機能し始めてきました。やはり支援する側も「人」なので、改めて人の育成の重要性を実感した1年でした。活動面では、単発利用者へのアプローチ事業や動物愛護団体へのトレーニング支援、チャリティグッズ工場の立ち上げなど、大小様々な新しい取り組みを行いました。また、台風被災地の常総市支援も実施しました。

2016年度は、心身の安定を目指す現行のプログラムの次の段階として、中間的就労プログラムを新たに立ち上げ、それに合わせて財政基盤を支える事業の1つとしても機能していけるように活動してまいります。また、若者と保護犬それぞれが前に進めるように、コンテンツ見直しと支援スタッフの育成には引き続き力を入れていきます。地域の人や動物たちがお互いを尊重し、共に支え合い、困難な場面でも助け合って乗り越えていける社会を、「ドッグプログラム」の可能性を通じて実現していくことを目指します。2016年度もどうぞよろしくお願い致します。







Contents

P6-7	若者自立支援ドッグプログラム事業
P8	子ども達への教育活動
P9	事業基盤強化・ドッグプログラム啓発事業
p10-12	昨年度の振り返りと今後の目標
P13	実績一覧
P14	ご寄付者様
P15	団体概要・沿革・提携動物保護団体様
P16-18	会計報告
P19	ご支援のお願い





若者自立支援ドッグプログラム事業

自立を目指す若者と保護犬が
社会へ再出発できることを目指して

社会での居場所が見つからず自立に悩む若者達が日本にはたくさんいます。一方で、飼い主に捨てられて殺処分されてしまう犬たちもたくさんいます。私たちは双方が共に助け合い一歩踏み出すための機会を提供し、若者の自立と保護犬の里親家庭への譲渡を目指しています。

2015年度概要

2つの新たなプログラムが開始

- ・自立支援プログラム「いぬのいえ」
- ・フリースペース
- ・面会相談
- ・《NEW》お手紙会員
- ・《NEW》ヨガ教室

2015年度はこれまでの活動内容をベースにしつつ、心と身体の状態を整えるプログラムの1つとしてヨガ教室をスタートしました。

また、なかなか足を運べていない若者へのアプローチ事業として、定期的に活動の報告や手紙をご自宅へ郵送するお手紙会員の取り組みを始めました（花王ハートポケット倶楽部地域助成による助成事業）

チャリティグッズ工房&ギャラリー

2015年11月頃～2016年3月にかけて施設の一部を全て自分たちでリノベーションして（公益財団法人公益推進協会第8回夢屋基金による助成事業）、来年度に向けてチャリティグッズの企画や試作製作を開始しました（パルシステム茨城くらし活動助成金による助成活動）。

被災地支援×若者の自立支援

2015年9月の台風18号被害による常総市被災支援として、若者も含めて話し合いの時間をもち、ペット物資支援や犬の一時預かり支援を行いました。チラシ作成や支援物資の在庫整理など、それぞれの若者が今できる支援活動に取り組みました。

日常のプログラム以外にも、
様々な取り組みに挑戦しました！

- ・交流イベント「おもてなし会」
みんなでBBQやピザ作り、山登りなど楽しい交流イベントを行いました。
- ・老人ホームへセラピードッグ訪問
- ・犬の譲渡会の実施
- ・チャリティグッズの製作
若者自身が企画した商品を製作イベントで販売しました。
- ・ボラバイト（=研修手当がでる軽作業）
企業様から内職作業をご依頼いただき職業体験として作業を行いました。
- ・適応指導教室訪問
地域の不登校児が通う教室へ訪問活動を行いました。
- ・ひきこもり合同相談会 相談員
茨城県内各地で行われた相談会に相談員として参加しました。





若者自立支援ドッグプログラム事業

2015年度実績

活動カテゴリ	実施回数 (回)	利用者合計 (人)
自立支援いぬのいえ	198	25
フリースペース	12	不特定多数
お手紙会員	18	9
交流イベント	3	34
セラピードッグ訪問	1	50
ひきこもり相談員/事例 検討会/保護者説明会	3	12
犬の譲渡会	2	不特定多数
適応指導教室訪問	1	7
ヨガ教室	15	35



2015年度に実施した活動とその実施回数、利用者数の合計です。

※利用者数は、個人を1としてカウントしていますので同じ人が2回利用しても1カウントになっています。



2015年度の「いぬのいえ」の利用者数と犬の頭数です。

2015年度(2015/4/1-2016/3/31)成果

総利用者実数 (※単発利用者/親族利用者含む)	25名
定期利用者実数 (※単発利用者/親族利用者含まない)	11名
延利用者数 (※定期利用者のみ)	448名
進路決定者数	3名
進路決定率	27%
総トレーニング数	7頭
総譲渡数	7頭
台風18号被災犬預かり総数	5頭



2013年5月1日～2016年3月31日までの約3年間の集計です。

開始時(2013/5/1)から現在まで

(※一般向けプログラムのみ集計)

人	総利用者数	64名
	定期利用者数	16名
	延利用者数	1067名
	進路決定者数	8名
犬	進路決定率	50%
	総トレーニング数	15頭
	総譲渡数	12頭

※年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため(例えばプログラム参加した翌年に就労決定等)過去の年度も含めた集計を掲載しています。

2016年度目標



プログラムの質と成果の向上 若者編

- ・ 中間的就労プログラムの立ち上げ
- ・ 現行のプログラムのコンテンツ見直し
- ・ 単発利用者へのアプローチ事業の効果検証
- ・ 新規利用者へのアプローチ事業の検討



プログラムの質と成果の向上 保護犬編

- ・ 保護犬の導入テストの再検討
- ・ トレーニングプラン立案の流れの見直し
- ・ ドッグシェルター化の検討
- ・ 譲渡の促進





子ども達や飼い主の方への教育活動事業

未来を担う子ども達に自分を大切にすることを育み、
誰もが他者を尊重できる社会を目指して

“自分を自分で認められる。好きになれる。”そんな大人になれば、自分以外の他者や自分よりも弱い立場の相手を尊重して愛せる大人になれると考えています。私達は、子ども達が身近に感じ、かつ、自分よりも弱者である“犬”という存在を通じて、自分を認めること、他者を幸せにすること、相手の気持ちを考えること、相手に気持ちを伝えること…これらの本質はつまりどういうことなのか、子ども達でも理解できるように様々な方法で伝えていきます。



2015年度概要



多世代への教育活動を実施

昨年度から繋がりがあった様々な施設や団体の方からお声をかけていただき、幼稚園～小学生の子どもたち向けや一般の犬の飼い主さん向けなど様々な参加者層の方へ啓発イベントを実施しました。また2015年度は、連携している動物愛護団体様のシェルターにいる保護犬の慣らしトレーニングのレクチャーも実施し、動物ボランティアの方々への講習会も多数行ないました。

2015年度実績

活動カテゴリ	実施回数 (回)	利用者合計 (人)
飼い主啓発活動	2	不特定多数
動物保護団体のドッグトレーニングサポート	10	50
動物介在活動	2	180

2016年度目標



出張プログラムの対象とテーマの整理



提供コンテンツの見直し・改善





事業基盤強化・ドッグプログラム啓発事業

社会に価値ある成果を出せる“継続的な組織”を、
日本中に作るために

自立に悩む日本中の若者たち、殺処分されてしまう日本中の犬たち、彼らを各々の地域で守り育てていけるように、継続して事業を行い成果を出していける組織基盤作りと、ドッグプログラムが様々な地域でも適切に運営されるよう活動して行きます。

2015年度概要



ご寄付による移動用車両の納車クラウドファンディングの運営サイト「JapanGiving」を通じて、たくさんの方に応援いただき、目標金額の150万円を達成しました！2015年6月に無事に納車いたしました。この車両のおかげで日々の保護犬の送迎が安全になり、譲渡会やイベント出展も犬を安全に連れて実施できるようになりました。



チャリティグッズ工房始動

若者の中間的就労の場と、自主事業の拡大を目指して、若者たちと力を合わせてリノベーションした工房が完成！2016年度からはグッズの企画や製作を本格的に行っていきます。

* 犬のナチュラル雑貨 kidogs *

<http://kidogs.thebase.in>



支援員の人材育成

2015年度から職員を2名雇用したことで安定的なプログラム提供と活動基盤の整備を行うことができました（中央ろうきん若者ファンドによる助成事業）。専門資格取得の支援や、内部スタッフ研修会も実施しました。

2015年度実績

活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計(人)
講演会	4	95
取材・見学対応	毎月随時	74
啓発イベント	2	不特定多数
ファミリー会員	随時	13

2016年度目標



自主事業の拡大と中間的就労のプログラム作り



集合研修等を実施しスタッフ研修や組織作り



支援スタッフの養成マニュアル作り



プログラムへ参加した若者による作文

2015年度の振り返りと今後の目標

プログラムへ参加した若者の中から数名をお願いをして、昨年度の振り返りと今後の目標を書いてもらいました。

「担当犬を助けているようで、私の方が助けられている」Aさん

この1年の活動で学んだこと、得たこと、たくさんありました。それには犬たちの存在が大きく関わっています。私の担当犬ヤマは初めての環境や人が苦手でトレーニングが大変なこともあります。それが私の成長にもつながります。トレーニングをするということは声を出して指示をする、トレーナーさんや参加者の方と会話したりなど、これらは私が苦手とする部分です。さらにトレーニングはただコマンドを教えれば良いという訳ではなく、相手がどう思っているか気持ちを考える、自分の思いを相手に伝えるということも重要だと教えていただきました。これらは犬に対してだけでなく、人に対しても同じです。言葉にするのは簡単でも実際はなかなか難しいです。でもヤマががんばってくれるおかげで、私も少しずつできるようになっていきました。来客があった時、ヤマの人馴れのためご協力いただいています。自分から話しかけてお願いするのはとても勇気がいりますが、ヤマの方がすごく怖がるので逆に冷静になったりします。ヤマを助けているようで私の方が助けられているんです。この積み重ねがあり、以前は参加しようとしなかった譲渡会に参加できるようになりました。こうしたイベントは私にもヤマにもとても良いトレーニングになるので、今後も積極的に参加していきたいと思います。それと最近キドックスでイラストの担当をさせてもらっています。私は得意なことがなく、色々なことに自信が持てません。この担当は私が自信を持つための1歩でもあります。今はまだ自信をもていませんが、いずれは得意なことを見つけ、自信に変えていきたいです。キドックスに通って2年、スローペースではありますが、自立を目指してがんばります！

「相手の気持ちを知った上で、自分らしく振る舞えるようになりたい」Sくん

私は、キドックスで長い間活動することで自分の抱えている一番の悩みに気づくことができました。キドックスの活動を通して自分の中で生まれるストレスや悩みは常に他者とのコミュニケーションに関することでした。「こういうことを言うとどう思われるのか。」「自分がこの行動をとることにより相手はどう思うか。」自分が抱える悩みは、自分の行動や発言に対して相手がどう感じるのかという不安が常につきまとっていました。自分の行動や発言を常に気にする人がいないことを頭の中では分かっているつもりですが、どうしても不安が出てきてしまうのです。相手の気持ちを考えるのは良いことですが、考えすぎることで消極的な行動しか取れないのは良くないと思っています。まだ私には、難しいかもしれませんが、相手の考えや気持ちを知った上で自分らしく振る舞えるようになれれば良いなと思います。



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



キドックスのスタッフによる作文

2015年度の振り返りと今後の目標

ドッグプログラムに携わるスタッフより、昨年度の振り返りと今後の目標について述べます。

「若者と犬たちが自分たちの道へ進めるよう必ず結果に繋げること」

2015年を振り返ると、活動が思うように結果に繋がらないことで何度も悩み抜き、多くの気づきを得た一年でした。スタッフの配置や役割も変わりつつスタートした2015年度の始めは、目の前のことにただただ必死に取り組んできました。しかし、ふと我に返って振り返ってみると、目の前の現状に対応していくことばかりに注力し、先を見据えてのプログラム構成が本当にこれがベストなのかという疑問にぶつかりました。スタッフ同士色んな角度から何度も悩み、話し合い、出た答えをプログラムに落とし込み実践し・・・の繰り返しでした。この一年の活動を通して、それぞれの役割の再認識とそれについての学びを深めること、また、プログラムを通して若者と犬たちが自分たちの道へ進めるよう必ず結果に繋げる事、またその上で大切にしたいことなどを改めて決意した一年となりました。2016年度は、それぞれの学びを深めつつ、それを現場でフルに活かせるようにチームとしてそれぞれの役割と連携を高め、スタッフ全員で同じ方向を目指し取り組んでいきたいと思えます。

プログラム統括責任者 村本 知恵里

「犬にも若者たちにも心に寄り添うことを忘れずに」

“やりたい事と出来る事は違う”……そんな現実を突きつけられた2014年度からプログラムを見直し、新たなスタッフ配置となりスタートした2015年度。キドックスが社会の中でどの位置に存在するのか？求められていることは何なのか？私たちの強みは？問題点は？…2015年度は自分達だけが満足するプログラムなのではなく、本当に必要なことは何なのか？それを現場で掴み始めることが出来た年になったと思います。若者1人1人と向き合い、課題を明確にし、それをドッグプログラムやその他のプログラムに落とし込むプログラム体制がとれてきた事はとても大きな前進だと感じています。ただ、犬の譲渡も含め、結果に対してはまだまだ追求することが必要だとも感じています。

2016年度の目標としては、今まで以上に結果にコミットすることが必要だと感じています。そのためにもまずは1人1人、その時その時の課題を明確にし、それぞれのステージに沿った関わり方がいかに出来るか。これは譲渡を目指す犬たちも同じだと思いますが、大きなポイントになってくると思います。そしてそれをクリアするためにも、スタッフ間の役割分担を明確にし、情報共有と意見交換を大切にしていけたらと思います。その中で、ドッグトレーナーとしての個人的な役割としては、犬と若者、双方の課題をクリアするためのサポートをドッグプログラムの中で行っていくこと。犬も若者も、それぞれの心を大切に、1人1人、1頭1頭を尊重しながら活動に携わっていかれたらと思っています。私個人としては、この活動を通して本当に沢山のことを感じ、考えさせられ、教えられています。今通っている若者たちと重なる部分も本当にたくさんあります。スタッフの一員として、ただプログラムを運営するだけではなく、自分だったらどうする？本当に大切な事は？？どんな時も、犬にも若者たちにも、心を寄り添うことを忘れずに活動していきたいと強く思います。

ドッグトレーナー 山田 有紀子



キドックスのスタッフによる作文

「トレーニングのやり方だけでなく、自分の内側にある情熱を伝えたい」

2015年度の活動を振り返ると、保護されてからずっと一緒にいた2頭のポチとペーを東京の児童養護施設が迎えてくれたことが印象に残っています。譲渡時もその後も、子供達、施設スタッフさん達はいつも変わらず、嬉しそうに彼ら2頭とはしゃぎ、触れ合っている。一方2頭の表情はどんどん変わっていく。柔らかく、仔犬に戻ったかのようなはしゃぐ様子。一度は行き場が無くなった2頭が何うたんびにいい顔になっていく。もしかしたら彼ら2頭がいることで子供達もより笑顔になっているのかもしれない。そう思えるぐらい、お互いを活かし合っているように見えました。

また、施設スタッフさんから「フセ」の教え方を希望され、ポチを担当していた若者が施設スタッフにやり方を指導する機会がありました。参加者が施設スタッフとやりとりしながら、教えている。保護犬を通して人と人が繋がっていく・・・そんな一幕を見て、この活動の可能性を改めて感じました。その参加者は今、散歩中の扱いが簡単ではない保護犬を担当し、根気よく向き合ってくれています。2016年度の年報が楽しみです。

一転、キドックスの活動における私自身を振り返ると、何かが足りなかった1年でもありました。若者達にドッグトレーニングを指導するうち、気付かされることがありました。それは自分の嫌な面や足りない所に向き合わされること。もう一步、彼ら若者に踏み込まなければいけないかもしれない・・・と思うような場面でも、待ってあげた方がいいのではと考え、躊躇したままその場が終わってしまうことも多くありました。私自身がどこか不完全燃焼を感じていれば、若者にも伝わるはずがない。トレーニングのやり方は教えられても、それじゃない何かまでは伝わっていない感じ。「熱」が足りない。自分の内側にあるものをもっともっと出さないと若者に伝わらないのではないかと。

熱を出せるかどうか、出し続けられるかどうかがあたぶん自分の役割でもあり、それが正しかったとしても間違っていたとしても、次に進むためには恐らく必要であり、それが保護犬の譲渡実績、参加若者のステップを進め、現場スタッフの安定、事業が評価されていくことに繋がる、そう思います。そこを意識し続けながら取り組めるかどうか2016年度の課題であり意気込みになりそうです。

ドッグトレーナー 里見 潤





2015年度実績一覧

■ イベント型活動

- 2015/4/21 六本木俳優座のHAPPYあにまるFESTAにステージ出演
- 2015/5/30 キドックス交流会・BBQパーティを実施
- 2015/6/30 【セラピードッグ訪問】サンシャイン・ヴィラ つくば倶楽夢様
- 2015/9/25 つくばみらい市適応支援教室の子ども向け犬のふれあい教室
- 2015/10/24 【譲渡会】青山国連大学前ファーマーズマーケット内
- 2015/10/17(土)18(日) PETDAYin青山へ出展
- 2015/10/31 世田谷区上馬公園自然と親しむ体験フェスタにて犬のふれあい講座
- 2015/11/1 「大江戸！みらい祭り2015」へブース出展
- 2015/11/7 キドックス交流会・石窯ピザパーティを実施
- 2015/12/13 【譲渡会】土浦市霞ヶ浦総合公園『あおぞらまるしゅ』
- 2015/12/29 キドックス交流会・筑波山登山を実施
- 2016/1/23 土浦市みんなで協働のまちづくりシンポジウムへ出展

■ 講演活動

- 2015/4/26 「ちびっこオセロキャラバンinつちうら2015」にて命の授業を実施
- 2015/5/8 茨城大学にて代表の上山が講演
- 2015/7/4 不登校・ひきこもり・ニートに関する事例検討会で活動紹介
- 2015/7/2 もりや市民大学様にて代表が講演
- 2015/7/16 もりや市民大学様にて代表が講演
- 2015/9/24 ソーケングループ様のイベントで代表が講演
- 2015/10/27 地域ケア会議in水戸市もみじ館にて講演
- 2016/1/9 Ridilover-Social Issue Conference(R-SIC/アールシック)のツアーにて講演

■ 相談員

- 2016/2/25 ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
- 2016/2/26 プログラムの保護者説明会を実施

■ 助成金選出

- 2015/10/1 公益財団法人公益推進協会第8回夢屋基金の助成先に選出
- 2015/11/4 パルシステム茨城くらし活動助成金の助成先に選出
- 2015/11/24 花王ハートポケット倶楽部地域助成先に選出
- 2016/3/10 中央ろうきん若者応援ファンド2016に選出

■ メディア掲載

- 2015/4/9・4/10 常陽新聞に掲載
- 2015/5/30 福島民報と新潟新聞に掲載
- 2015/11/15 ビッグイシュー日本版に掲載
- 2016/2/23 ビッグイシューオンラインに掲載



■ 台風18号被害における茨城県常総市支援

- 2015/9/11より、台風18号被害における犬の一時預かり支援とペット物資支援を実施

■ 提携動物愛護団体

- NPO 法人 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク CAPIN 様（茨城県）
（CAPIN様のシェルター内の保護犬トレーニングも実施）
- Dog Shelter様（東京都）

■ その他

- 2015/5/30 通常総会を実施
- 2015/4/30 【感謝】クラウドファンディング目標金額達成
- 2015/6/8 【感謝】クラウドファンディングによるご寄付で購入した車を納車



2015年度ご寄付者様

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ☆4月3日 金子様 | ☆9月17日 石原様 |
| ☆4月3日 丸山様 | ☆9月17日 小西様 |
| ☆4月3日 白井様 | ☆9月17日 イトガ様 |
| ☆4月20日 大槻様 | ☆9月17日 今西様 |
| ☆4月21日 Eva主催「HAPPYあにまるFESTA」
六本木俳優座イベント募金いただいた皆様 | ☆9月18日 公益財団法人Eva様 |
| ☆4月22日 小神野様 | ☆9月22日 佐治様 |
| ☆4月28日 大槻様 | ☆9月24日 石原様 |
| ☆4月30日 クラウドファンディング「Japan
Giving」にてご寄付くださった皆様
(ひとみ様、chaiko様、両国キヤット様、
yasu-k様、平川ちひろ様、overbass様、potlove様、
osamu.hskw様、machiruda111様、徳本様、
TSUJI様、ねこひ様、suyama様、白(しろ)様、
たまみ様、Yorigo様、きじとら様、キャプテン様、
ドラメイ様、高橋めぐみ様、タシコ様、miyuki様、
しんたろう様、おか様、キャバリア王国様、
aya.masuko.5様、ひなさち様様、toro.i様、
まりっぺ様) | ☆9月24日 鈴木様 |
| ☆5月14日 細谷様 | ☆9月29日 石原様 |
| ☆5月15日 株式会社セールスフォース・ドットコ
ム様 | ☆9月30日 大槻様 |
| ☆5月22日 パルシステム茨城様 | ☆10月1日 神谷様 |
| ☆5月28日 白井様 | ☆10月2日 渡辺様 |
| ☆5月29日 小倉様 | ☆10月6日 ドングリ様 |
| ☆5月30日 小神野様 | ☆10月6日 アイガーデン糸賀様 |
| ☆6月3日 大槻様 | ☆10月6日 山室様 |
| ☆6月12日 山田様 | ☆10月6日 白井様 |
| ☆6月17日 木村様 | ☆10月8日 柴様 |
| ☆6月24日 大槻様 | ☆10月9日 金子様 |
| ☆6月25日 パルシステム茨城様 | ☆10月13日 山室様 |
| ☆6月26日 公益財団法人Eva様 | ☆10月16日 白井様(静岡市) |
| ☆7月22日 株式会社AHB様 | ☆11月1日 みらいフリマ2015出店時に
募金いただいた皆様 |
| ☆8月4日 大槻様 | ☆11月2日 大槻様 |
| ☆8月21日 井口様 | ☆11月20日 西日本衛材株式会社様 |
| ☆8月21日 アイガーデン 糸賀様 | ☆11月24日 江戸崎総合高等学校様 |
| ☆9月1日 大槻様 | ☆12月9日 石原様 |
| ☆9月8日 細谷様 | ☆12月11日 石原様 |
| ☆9月11日 柴岡様 | ☆12月13日 譲渡会inあおぞらまるしえにて
募金いただいた皆様 |
| ☆9月14日 ひろき様 | ☆12月14日 大槻様 |
| ☆9月16日 松岡様 | ☆12月15日 池田様 |
| ☆9月16日 西尾様 | ☆12月24日 石原様 |
| | ☆1月5日 細谷様 |
| | ☆1月18日 小出様 |
| | ☆1月18日 大槻様 |
| | ☆1月19日 東京育成園様 |
| | ☆2月12日 石原様 |
| | ☆2月12日 H様 |
| | ☆2月23日 細谷様 |
| | ☆2月24日 飯岡様 |
| | ☆3月1日 大槻様 |
| | ☆3月9日 海老原様 |
| | ☆3月16日 飯岡様、山口様 |



2016年3月31日現在 ファミリー会員として継続的にご寄付くださっている皆様

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ☆ T.M様 | ☆ Y.S様 | ☆ W.K様 |
| ☆ Y.Y様 | ☆ M.O様 | ☆ T.Y様 |
| ☆ M.K様 | ☆ C.M様 | ☆ T.W様 |
| ☆ T.H様 | ☆ T.S様 | ☆ Y.F様 |

(※2016年3月31日以降にご寄付いただいた方は来年度の年報に掲載させていただきます)

皆様からの温かいご支援に、心より御礼申し上げます



団体概要

団体正式名：特定非営利活動法人キドックス (KIDOGS)
 法人設立日（登記日）：2012年9月20日
 団体設立：2011年8月
 スタッフ数：4名（2016年3月末現在）
 活動ボランティア数：約5名
 正会員数：10名

役員

代表理事 岡本琴美（旧姓：上山）
 理事 里見潤
 理事 山田有紀子
 理事 村本知恵里
 理事 佐治莉沙子
 監事 渡邊陽子



沿革

2010年12月 犬の殺処分問題や子どもを取り巻く社会問題について調査・研究を開始
 2011年8月 犬を介した子ども向けプログラムなどを様々な形式で行う
 2012年9月 NPO法人格を取得
 2013年3月 犬と若者の支援施設「キドックスファーム」を茨城県土浦市にて開所
 2013年5月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム開始（自立援助ホーム向け）
 2013年9月 若者就労支援プログラム開始（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年1月 若者就労支援プログラム終了（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年3月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム終了（自立援助ホーム向け）
 2014年4月 自立支援プログラム「いぬのいえ」、フリースクール「こいぬのおへや」
 保護犬カフェ「わんこみゅカフェ」開始
 2014年7月 フリースクール「こいぬのおへや」プログラム終了
 2015年12月 お手紙会員プログラムスタート
 2016年3月 現在も茨城県土浦市にて活動中！



2015年度 提携動物保護団体様



動物愛護を考える
 茨城県民ネットワーク CAPiN様
<http://www.capinew.jp>

茨城県土浦市にて動物保護施設を運営し、
 動物と人が幸せに生きる社会を目指しています



Dog Shelter様
<http://dogshelter.jp>

東京都内の保健所から犬を保護し、犬達が温かな
 家庭で幸せに暮らせるように活動しています



2015年度会計報告

2015年度の会計全体のご報告です。

活動計算書

27年 4月 1日 ~ 28年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	0
2. 受取寄付金		
受取寄付金	2039797	
ファミリー会員会費	444660	2484457
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	2050000	
受取国庫補助金		2050000
4. 事業収益		
イベント収益	121480	
利用者会費	1390000	
雑収入	84052	1595532
5. その他収益		
受取利息	440	
雑収益	9584	10024
経常収益計		6140013
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
人件費	2112000	
法定福利費	302006	
福利厚生費		
人件費計	2414006	
(2)その他経費		
印刷製本費	14434	
賃借料	40920	
水道光熱費	92245	
諸会費	265000	
諸謝金	23000	
旅費交通費	613541	
消耗品費	888894	
地代家賃	240000	
通信運搬費	55796	
雑費	70	
備品費	1150000	
支払手数料	68771	
損害障害保険料	92598	
研修手当	5410	
広告宣伝費	3000	
会議費	7400	
他団体寄付	7432	
動物医療費	2808	
その他経費計	3571319	
事業費計		5985325
2. 管理費		
(1)人件費		
人件費	0	
福利厚生費	10000	
人件費計	10000	
(2)その他経費		
諸会費		
租税公課	737	
消耗品費	16922	
支払手数料	216	
その他経費計	17875	
管理費計		27875
経常費用計		6013200
当期正味財産増減額		126813
前期繰越正味財産額		2197112
次期繰越正味財産額		2323925



2015年度会計報告

貸借対照表

平成 28年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	2323925
流動資産合計	<u>2323925</u>
2. 固定資産	
固定資産合計	<u>0</u>
資産合計	<u><u>2323925</u></u>
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	<u>0</u>
2. 固定負債	
固定負債合計	<u>0</u>
負債合計	<u><u>0</u></u>
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	<u>2197112</u>
当期正味財産増減額	<u>126813</u>
正味財産合計	<u><u>2323925</u></u>
負債及び正味財産合計	<u><u>2323925</u></u>

財産目録

平成 28年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金	47530
ゆうちょ銀行	2276395
流動資産合計	<u>2323925</u>
2. 固定資産	
固定資産合計	<u>0</u>
資産合計	<u><u>2323925</u></u>
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	<u>0</u>
2. 固定負債	
固定負債合計	<u>0</u>
負債合計	<u><u>0</u></u>
正味財産	<u><u>2323925</u></u>

～ご支援のお願い～

キドックスの活動は、皆様の温かいご支援に支えられています。
自立に悩む若者たちや、飼い主に捨てられてしまった犬たちの双方の社会復帰のために、皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ファミリー会員になって支援する

キドックスの若者たち・保護犬たちを、温かく見守り、身近な存在として応援してくれる、ファミリー会員の方を募集しています。お申し込みはキドックスのHPにてお手続きをお願いいたします。

3つのプランがあります



様々な会員特典があります

D	O	G	会員特典
			食料証★入会後1ヶ月以内に郵送します。イベント参加時などにご持参いただけます。
			四季報★年に4回四季報を作成しお送りします(春号、夏号、秋号、冬号を予定)
			年報★1年に1回、年間の活動報告書を作成してお送りします(毎年5-6月頃を予定)
			一口ファーム券★キドックスファームの施設内にお名前や愛犬のお名前を掲示します。
			感謝の手紙★定期的にご支援の感謝の手紙を書いてお送りします。
			お着てほしい★会員の方をお着てほしいための企画を実施します。年に数回ご案内状をお届けします。愛犬のわんちゃんも一緒に遊びに来てください♪



寄付で支援する

寄付の方法は、銀行振込、クレジットカード、コンビニ払い、の3つからお選びいただけます。銀行振込の方は、下記金融機関宛にお手続きをお願い致します。その際は事務局 (info@kidogs.org) までご連絡をお願い致します。クレジットカード・コンビニ払いの方は、キドックスのHPからお手続きをお願いいたします。



物で支援する

活動に使用する様々な物品の募集をしております！
募藏品リストはキドックスのHPからご覧下さい。

振込口座

- ・銀行名 ゆうちよ銀行
- ・支店名 守谷久保ヶ丘支店
- ・店名 〇六八 (読み ゼロロクハチ)
- ・店番号 068
- ・口座番号 普通 4182270
- ・口座名義 特定非営利活動法人キドックス
- ・口座名義 (カタカナ) トクヒ) キドックス

特定非営利活動法人キドックス

〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 070-5088-6436

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>



特定非営利活動法人キドックス

〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 070-5088-6436

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>